市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
Ｍ０－００	表紙・図面リスト	―――
Ｍ１－０１	特記仕様書・機器表・案内図・配置図　（大野南中学校）	N.S
Ｍ１－０２	受水槽廻り詳細図（改修前・改修後）　（大野南中学校）	S=1/100
Ｍ１－０３	受水槽姿図（参考）　（相模台中学校）	S=1/80
Ｍ２－０１	特記仕様書・機器表・案内図・配置図　（相模台中学校）	N.S
Ｍ２－０２	受水槽廻り詳細図（改修前・改修後）　（相模台中学校）	S=1/100
Ｍ２－０３	受水槽姿図（参考）　（相模台中学校）	S=1/80
Ｍ３－０１	特記仕様書・機器表・案内図・配置図　（東林中学校）	N.S
Ｍ３－０２	受水槽廻り詳細図（改修前・改修後）　（東林中学校）	S=1/100
Ｍ３－０３	受水槽姿図（参考）　（東林中学校）	S=1/80
Ｍ４－０１	特記仕様書・機器表・案内図・配置図　（北相中学校）	N.S
Ｍ４－０２	受水槽廻り詳細図（改修前・改修後）　（北相中学校）	S=1/50
Ｍ４－０３	受水槽姿図（参考）　（北相中学校）	S=1/80

SAGAMIHARA
相模原市

修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

課長	担当課長	副主幹	係長	製図	合議

縮尺 -
設計年月日

図面名称
表紙・図面リスト

図面番号
M0-00

特記仕様書

１・修繕名称：市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

２・修繕場所：市立大野南中学校（相模原市南区文京1-10-1）

３・修繕概要：プール受水槽の更新

４・施工基準：（１）本修繕は、本特記仕様書及び設計図書並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、
令和7年版　公共建築（改修共）工事標準仕様書（機械設備、電気設備、建築工事編）
「同標準図」、「同施工監理指針」による。

５・提出物等：修繕着手から完成までに、提出する書類及び図面等は、市担当者の指示に従うこと。

６・疑　　義：仕様書及び設計図に疑義を生じた場合は、市担当者と協議し、その指示に従うこと。

７・写　　真：修繕受注者は着手前、施工中、完成等各施工段階を順序よく、黒板に内容を入れて
撮影し、修繕完了時に工程写真及び完成写真を提出すること。

８・発生材処理：修繕にて発生した産業廃棄物は法律等に従って適正に処理を行うものとする。

９・施工時期：施工時期については学校と協議の上、設定し施工するものとする。

10・完成検査：（１）修繕完了後は市担当者立会いの上で、現場の確認を行うものとする。
（２）修繕完成に際して、当該修繕による損害部の復旧及び補修は受注者の負担において
完成検査までに完了させる。

11・その他：給水装置工事申請が必要な費用は受注者負担とする。

機器表

(改修前)機器表

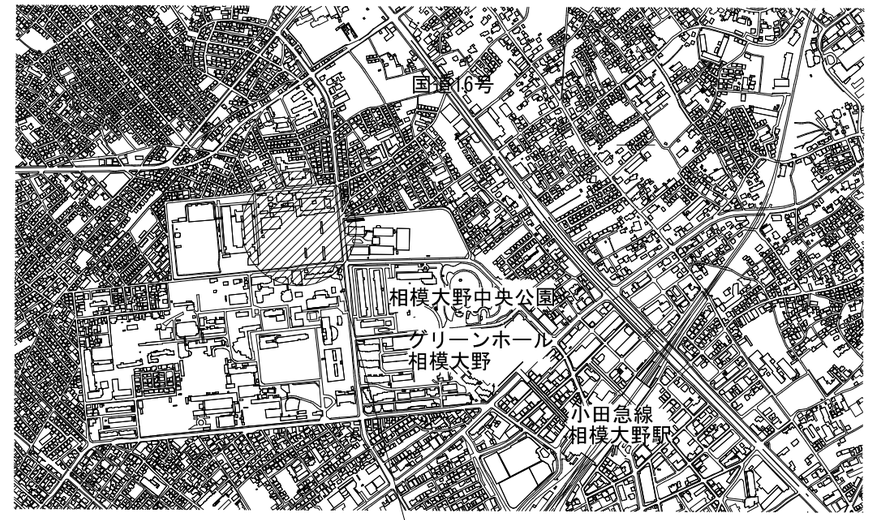
名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	FRP製単板パネルタンク：3,000W×11,000L×2,500H 呼称58.5m3（有効50.0m3） 耐震仕様2/3G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 架台:溶融亜鉛メッキ仕上	1

(改修後)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	鋼板製一体型受水槽：2,000W×5,000L×2,800H 有効19.0m3 耐震仕様1.5G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 その他　M1-03参照	2

案内図

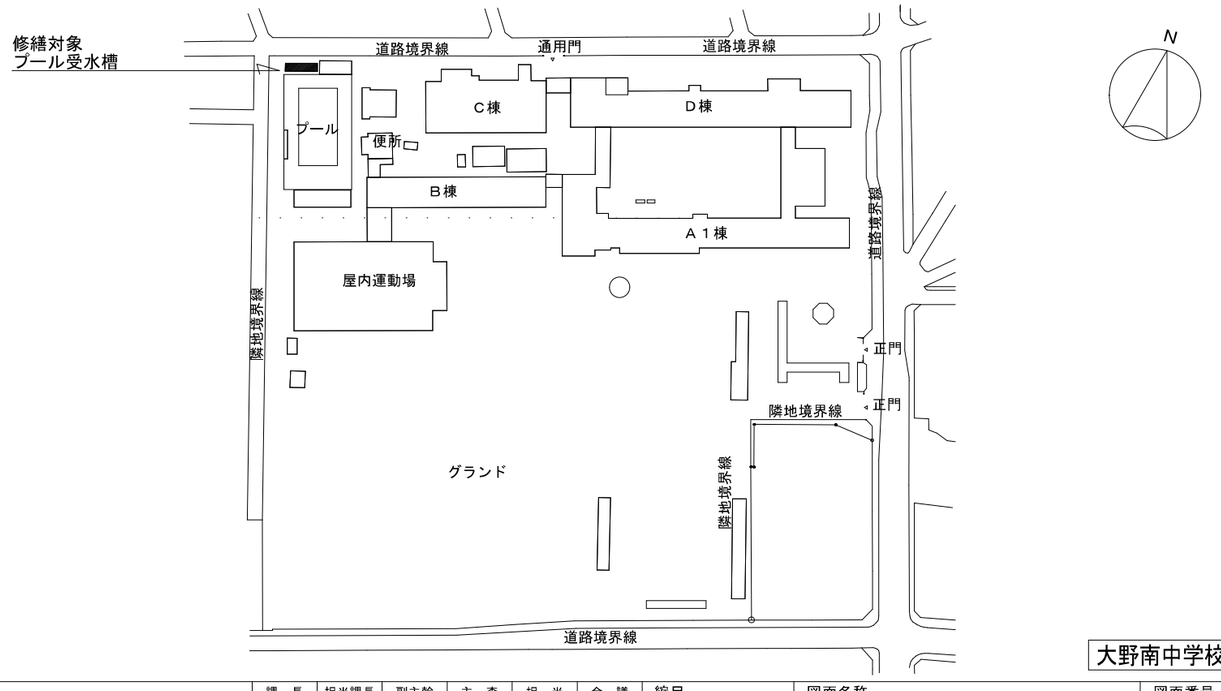
N．S



※駐車場から修繕場所までは、原則徒歩移動とする。
資材搬入等でやむを得ず車両が通行する場合には、先導員を配置して安全を確保すること。
※グラウンドに車両が通行する場合には、修繕完了時に整地を行うこと。
【学校敷地内を車両が通行する場合に遵守すべきこと】
・学校敷地内は最徐行を行うこと。
・登下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
・2人以上で車両通行する際には、1人が車両から降りて先導すること。
・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人に連絡を入れ先導をしてもらうか、
ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

配置図

N．S



大野南中学校

SAGAMIHARA
相模原市

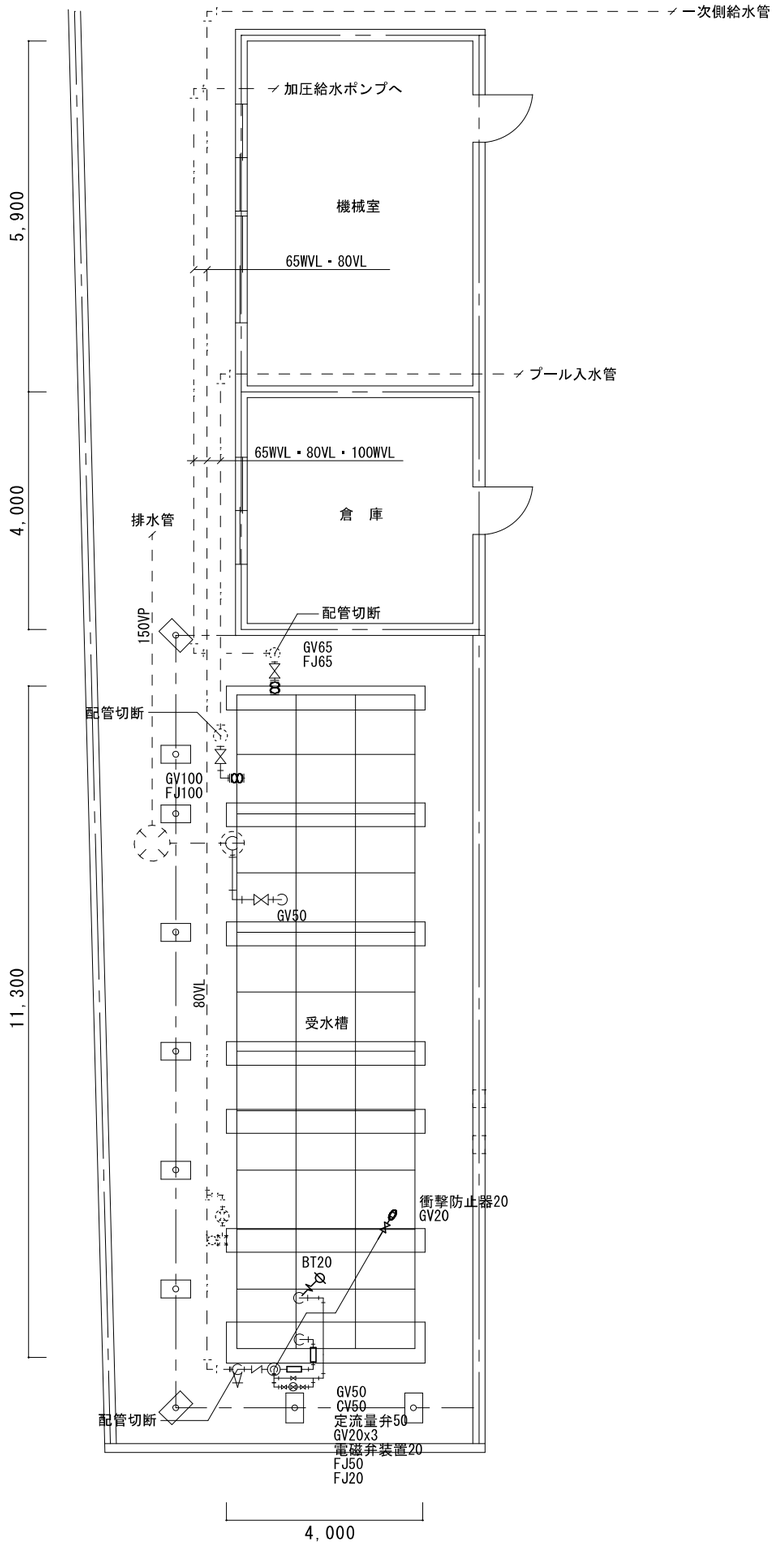
修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

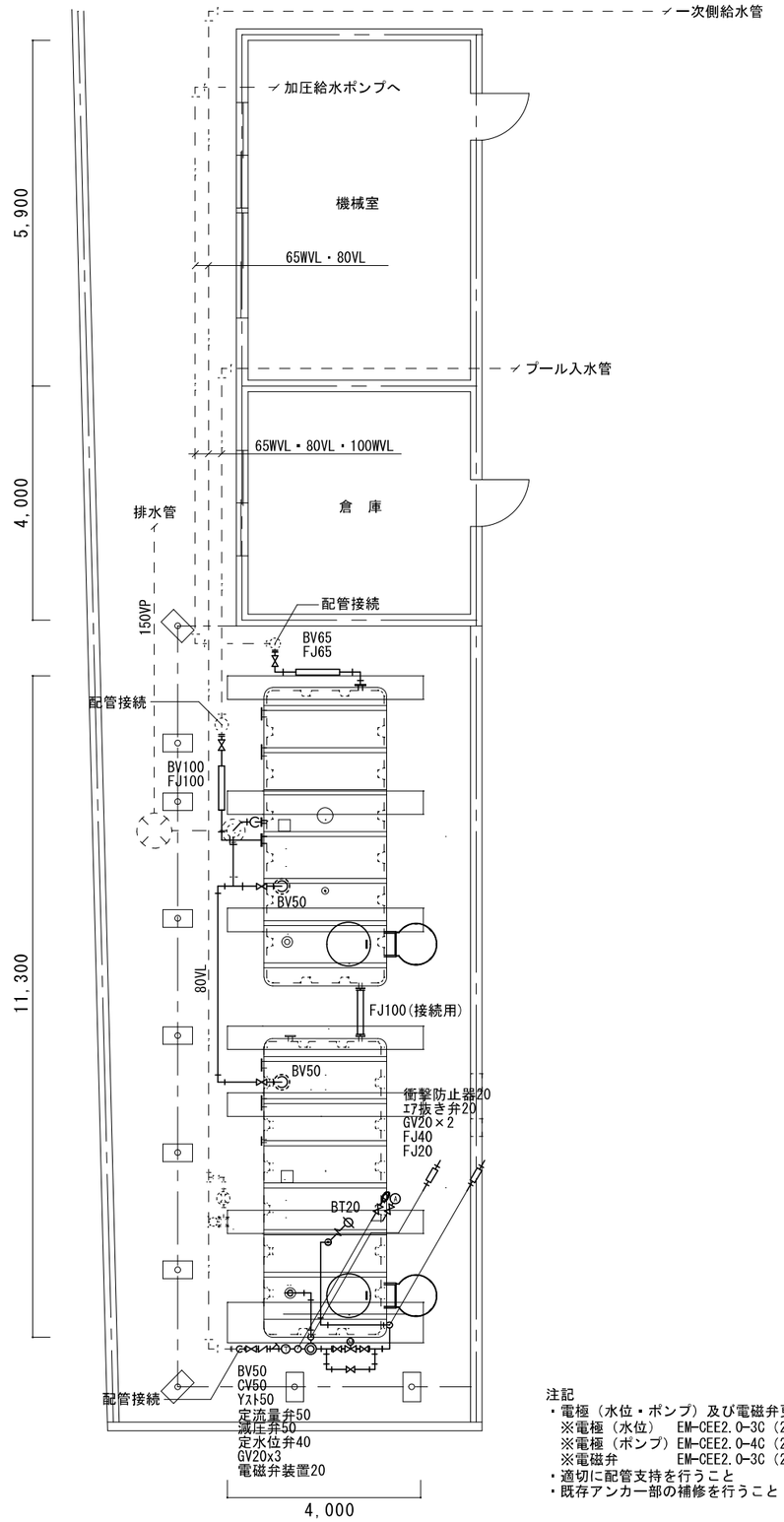
課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議

縮尺 N．S
設計年月日

図面名称
特記仕様書・機器表
案内図・配置図

図面番号
M1-01





注記
・電極（水位・ポンプ）及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
※電極（水位）　EM-CEE2.0-3C（22）
※電極（ポンプ）EM-CEE2.0-4C（22）
※電磁弁　　EM-CEE2.0-3C（22）
・適切に配管支持を行うこと
・既存アンカー部の補修を行うこと

大野南中学校

SAGAMIHARA
相模原市

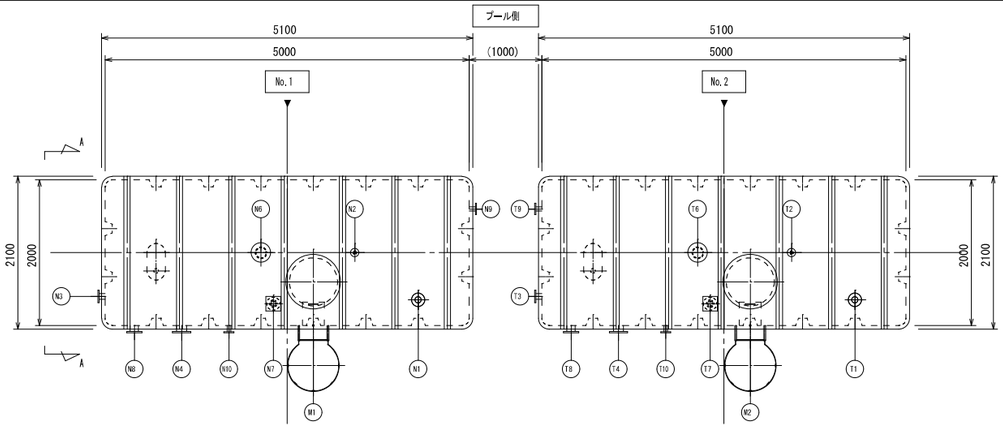
修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

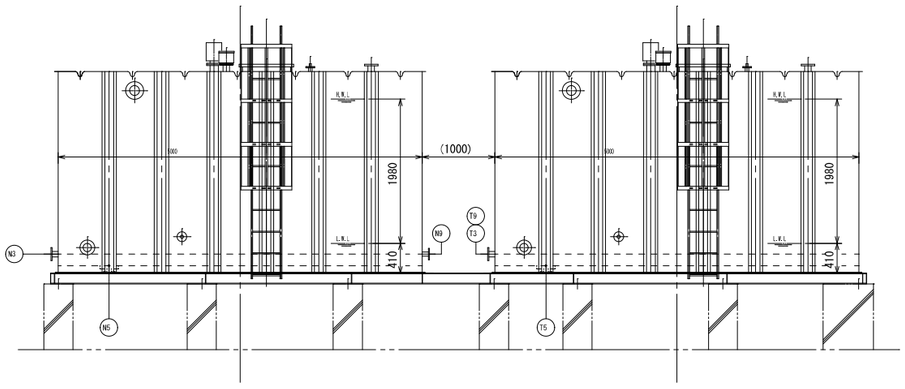
課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議

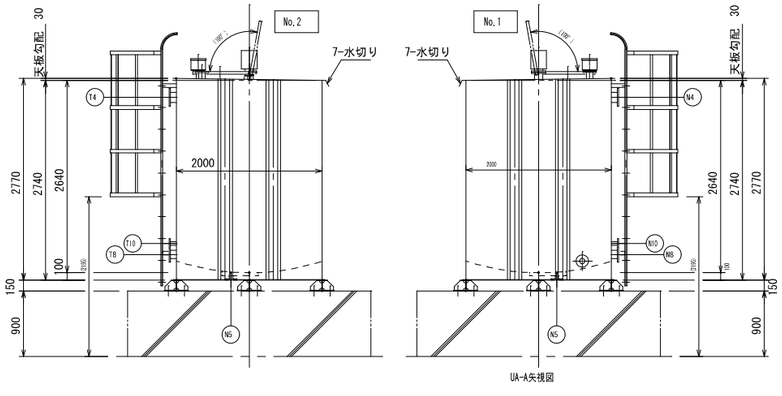
縮尺 S=1/100
設計年月日

図面名称
受水槽廻り詳細図
（改修前・改修後）

図面番号
M1-02







UA-A矢視図

(No.1)

ノズル表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
N-1	給水口	40A	1			防護管付(PVC)
N-2	給水口	20A	1			ボールタップ口
N-3	揚水口	65A	1			
N-4	溢水口	75A	1			
N-5	排水口	50A	1			
N-6	通気口	75A	1			防虫網付(PVC)
N-7	電極座	—	1			防護管・プルボックス付(PVC)
N-8	揚水口	100A	1			
N-9	連通口	100A	1			
N-10	緊急時採水口	40A	1			
M-1	マンホール	φ650	1	SS400	-	蝶付カバー

UN1・N7防波筒は透明とする
Uマンホール鍵 No. 1000-50 キーNo. 0025
UM1マンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
U外面のフランジ材質はSS400とする

(No.2)

ノズル表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
T-1	給水口	40A	1			防護管付(PVC)
T-2	給水口	20A	1			ボールタップ口
T-3	揚水口	65A	1			
T-4	溢水口	75A	1			
T-5	排水口	50A	1			
T-6	通気口	—	1			防虫網付(PVC)
T-7	電極座	—	1			防護管・プルボックス付(PVC)
T-8	揚水口	100A	1			
T-9	連通口	100A	1			
T-10	緊急時採水口	40A	1			
M-2	マンホール	φ650	1	SS400	-	蝶付カバー

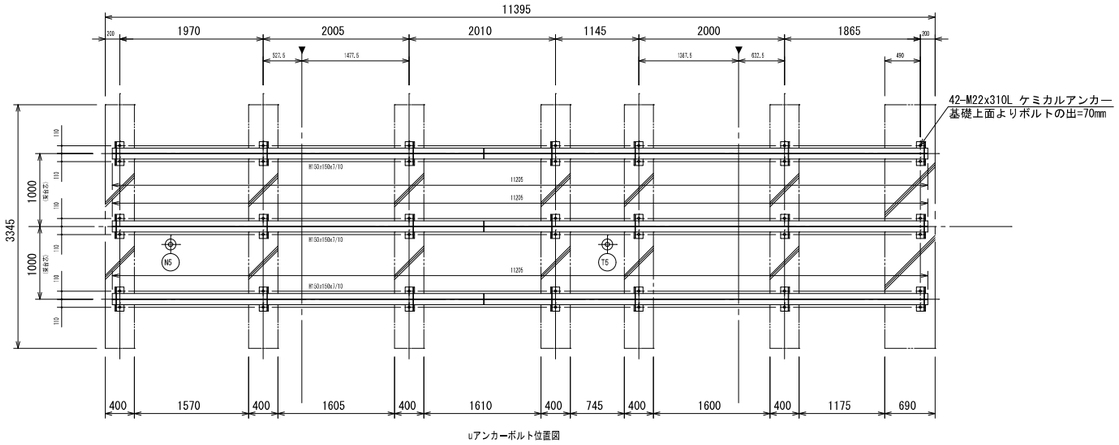
UT1・T7防波筒は透明とする
Uマンホール鍵 No. 1000-50 キーNo. 0025
UM2マンホールは内蓋付とする(合成樹脂製)
U外面のフランジ材質はSS400とする

(No.1)

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽		
	材質	SS400	
	容量	呼称=	有効=19m³
	板厚 (JIS規格品使用)	天=4.5mm側=4.5mm底=6.0mm	
	製品質量	本体=2950kg 架台=1160kg	
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂	
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
		NE-204 厚さ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
		NE-204 厚さ=0.2mm以上	
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー	
外装色		指定色	
設計震度		KH=1.5 KV=0.75	
内梯子		樹脂製	
外梯子		SUS304酸洗い(踏み枠はローレット加工)	
架台施工		SS400の上溶融亜鉛メッキ仕上(HDZT49)	
ボルト・ナット	水槽内部	気相部	SUS304ビス・ナット相当(樹脂塗布ねじ・ナット)
		液相部	SUS304
	水槽外部	電線接及び通気口	硬質塩化ビニル
		マンホール	SUS304
		アンカーボルト・ナット	SUS304
		その他の部分	SUS304

(No.2)

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽		
	材質	SS400	
	容量	呼称=	有効=19m³
	板厚 (JIS規格品使用)	天=4.5mm側=4.5mm底=6.0mm	
	製品質量	2950kg	
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂	
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
		NE-204 厚さ=0.4mm以上	
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング	
		NE-204 厚さ=0.2mm以上	
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー	
外装色		指定色	
設計震度		KH=1.5 KV=0.75	
内梯子		樹脂製	
外梯子		SUS304酸洗い(踏み枠はローレット加工)	
ボルト・ナット	水槽内部	気相部	SUS304ビス・ナット相当(樹脂塗布ねじ・ナット)
		液相部	SUS304
	水槽外部	電線接及び通気口	硬質塩化ビニル
		マンホール	SUS304
		アンカーボルト・ナット	SUS304
		その他の部分	SUS304



uアンカーボルト位置図

(既設基礎使用)

大野南中学校

SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称 市立大野南中学校外3校プール受水槽更新修繕	課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議	縮尺 S=1/80 設計年月日	図面名称 受水槽姿図（参考）	図面番号 M1-03

特記仕様書

１・修繕名称：市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

２・修繕場所：市立相模台中学校（相模原市南区桜台20-1）

３・修繕概要：プール受水槽の更新

４・施工基準：（１）本修繕は、本特記仕様書及び設計図書並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、
令和7年版　公共建築（改修共）工事標準仕様書（機械設備、電気設備、建築工事編）
「同標準図」、「同施工監理指針」による。

５・提出物等：修繕着手から完成までに、提出する書類及び図面等は、市担当者の指示に従うこと。

６・疑　　義：仕様書及び設計図に疑義を生じた場合は、市担当者と協議し、その指示に従うこと。

７・写　　真：修繕受注者は着手前、施工中、完成等各施工段階を順序よく、黒板に内容を入れて
撮影し、修繕完了時に工程写真及び完成写真を提出すること。

８・発生材処理：修繕にて発生した産業廃棄物は法律等に従って適正に処理を行うものとする。

９・施工時期：施工時期については学校と協議の上、設定し施工するものとする。

10・完成検査：（１）修繕完了後は市担当者立会いの上で、現場の確認を行うものとする。
（２）修繕完成に際して、当該修繕による損害部の復旧及び補修は受注者の負担において
完成検査までに完了させる。

11・その他：給水装置工事申請が必要な費用は受注者負担とする。

機器表

(改修前)機器表

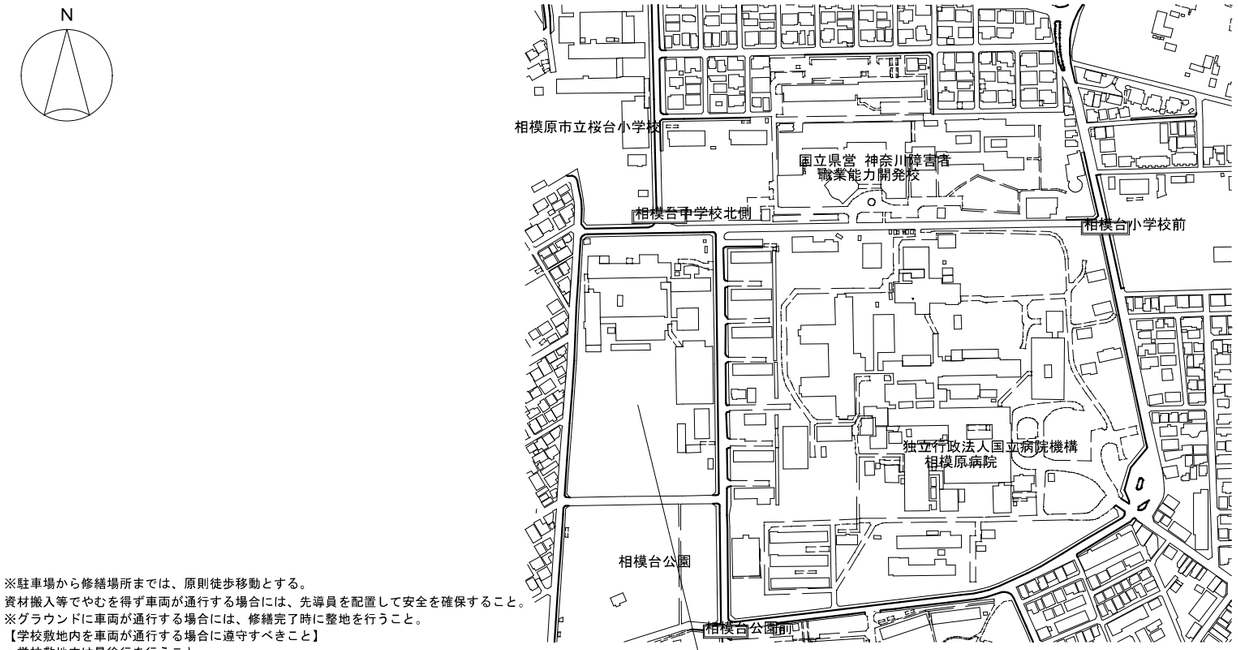
名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	FRP製単板パネルタンク：3,000W×11,000L×2,500H 呼称58.5m3（有効50.0m3） 耐震仕様2/3G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 架台:溶融亜鉛メッキ仕上	1

(改修後)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	鋼板製一体型受水槽：2,400W×9,200L×2,550H 有効38.0m3 耐震仕様1.5G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 その他　M2-03参照	1

案内図

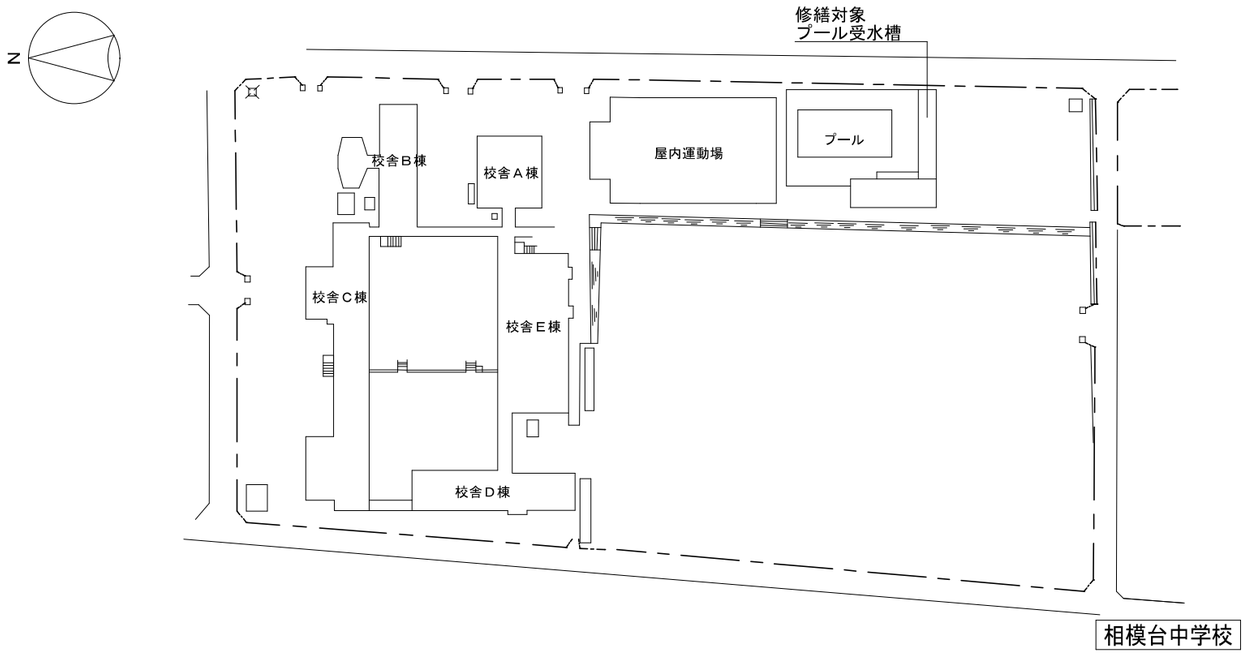
N．S



※駐車場から修繕場所までは、原則徒歩移動とする。
資材搬入等でやむを得ず車両が通行する場合には、先導員を配置して安全を確保すること。
※グラウンドに車両が通行する場合には、修繕完了時に整地を行うこと。
【学校敷地内を車両が通行する場合に遵守すべきこと】
・学校敷地内は最徐行を行うこと。
・登下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
・2人以上で車両通行する際には、1人が車両から降りて先導すること。
・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人に連絡を入れ先導をしてもらうか、
ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

配置図

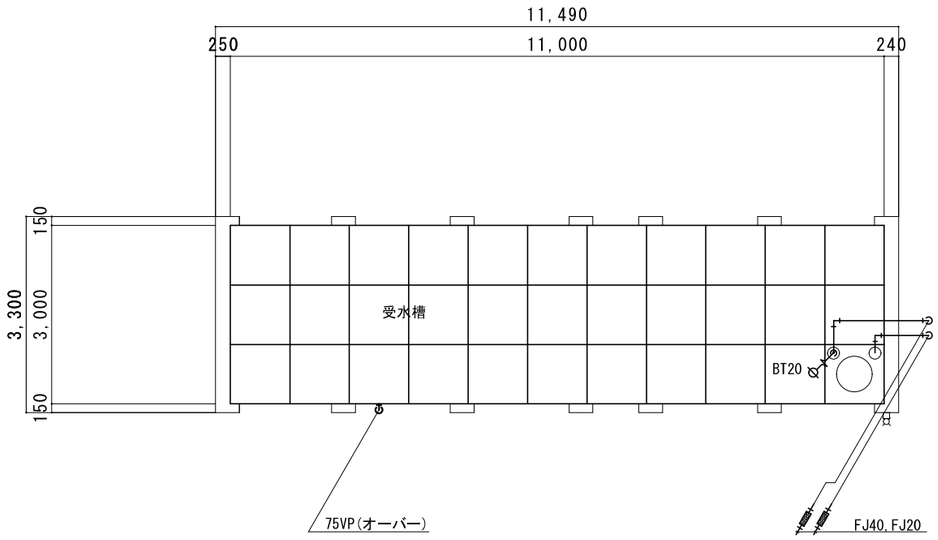
N．S



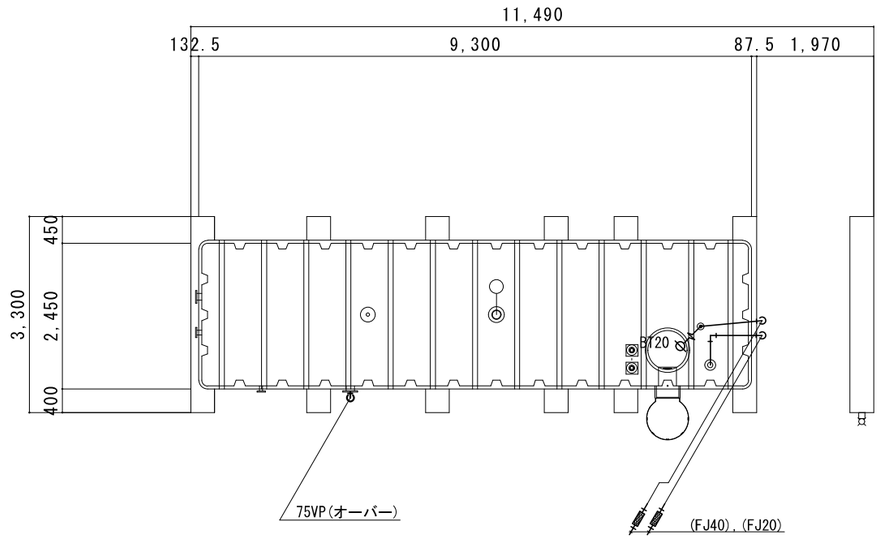
相模台中学校

SAGAMIHARA 相模原市		修繕名称 市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議	縮尺 N．S 設計年月日	図面名称 特記仕様書・機器表 案内図・配置図	図面番号 M2-01

受水槽上部配管図（改修前）

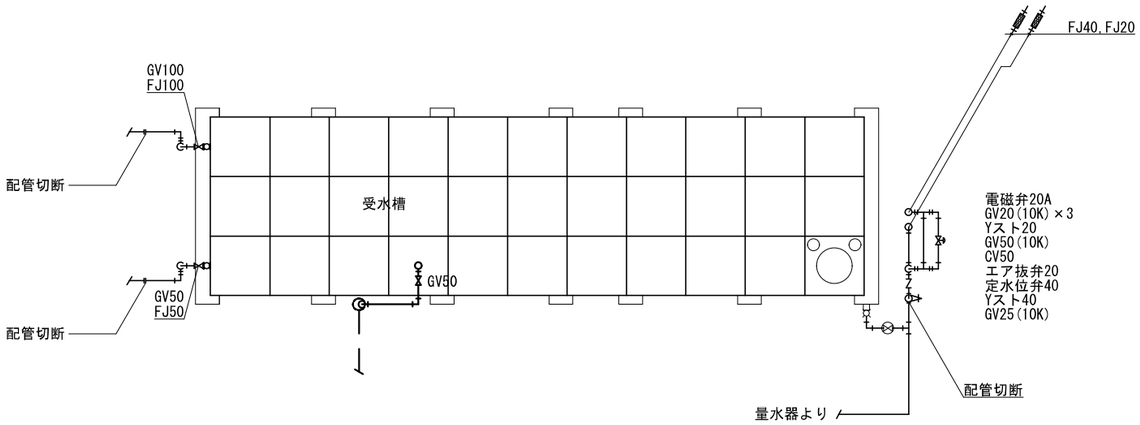


受水槽上部配管図（改修後）

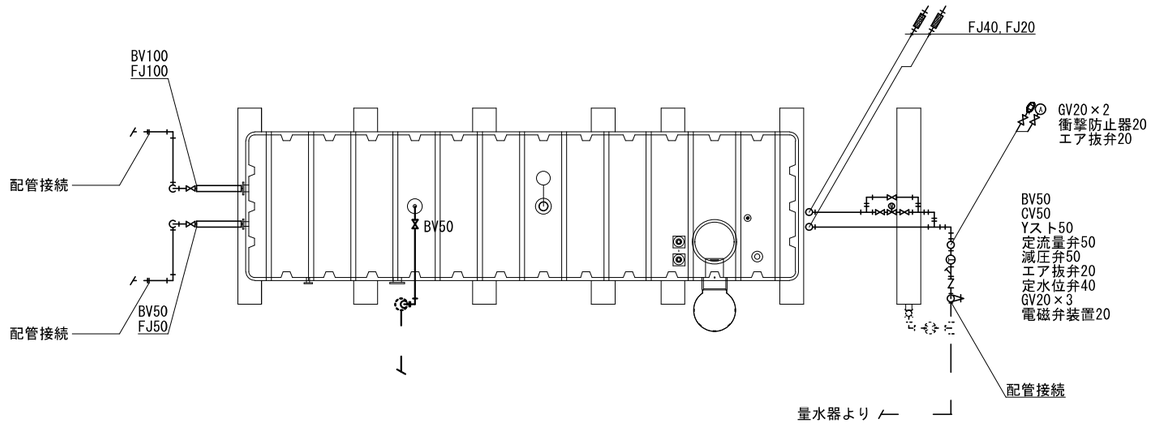


注記
- 電極及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
  ※電極　EM-CEE2.0-3C（22）
  ※電磁弁　EM-CEE2.0-2C（22）
- 適切に配管支持を行うこと
- 既存アンカー部の補修を行うこと

受水槽下部配管図（改修前）



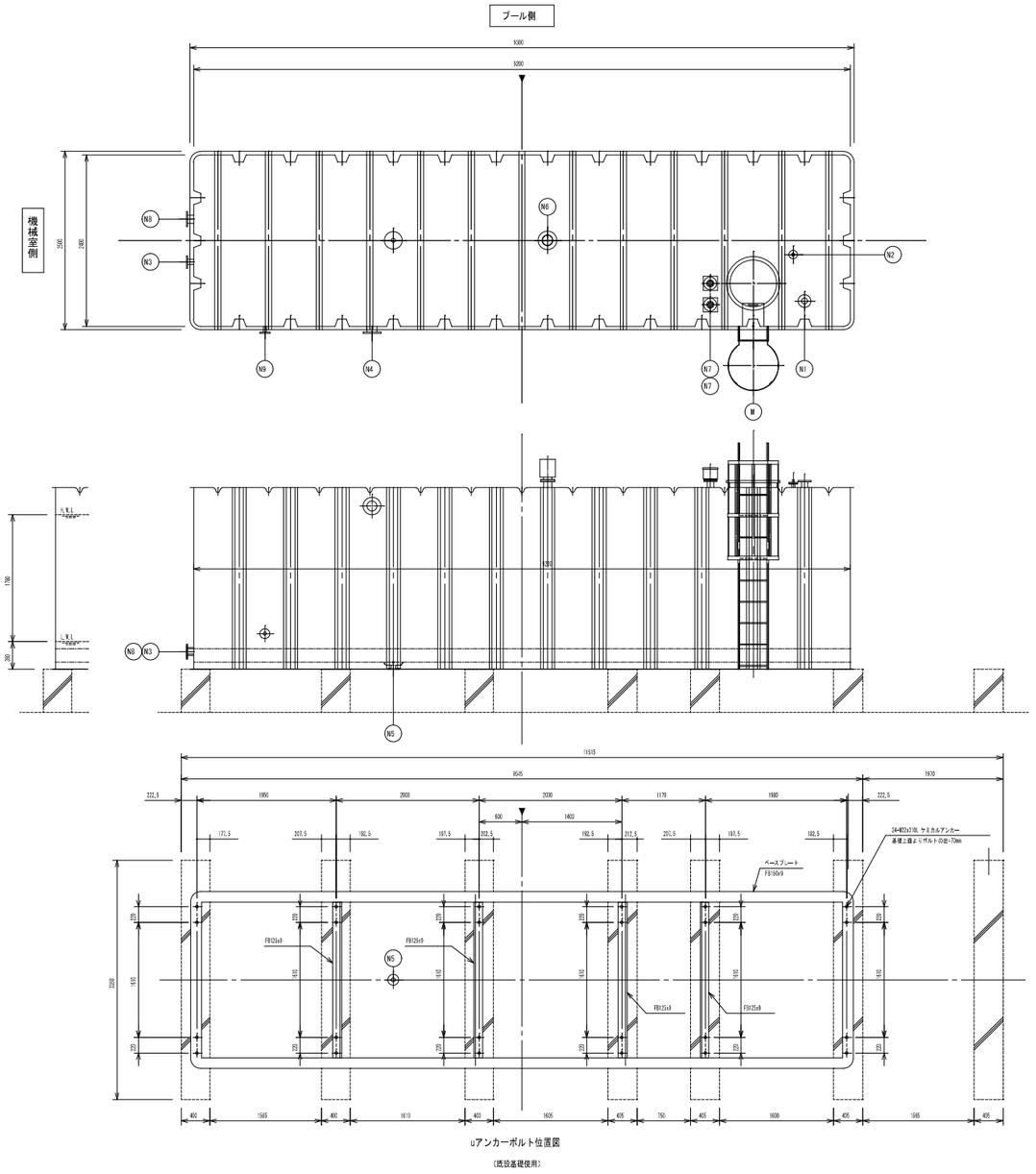
受水槽下部配管図（改修後）



注記
- 電極及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
  ※電極　EM-CEE2.0-3C（22）
  ※電磁弁　EM-CEE2.0-2C（22）
- 適切に配管支持を行うこと
- 既存アンカー部の補修を行うこと

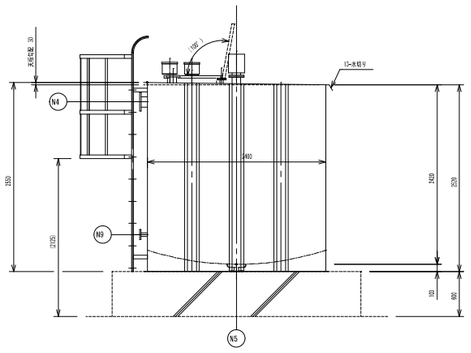
相模台中学校

SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称 市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議	縮尺 S=1/100 設計年月日	図面名称 受水槽廻り詳細図（改修前・改修後）	図面番号 M2-02



Uアンカーボルト位置図

（既設基礎使用）



ノズル表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
N-1	給水口		1			架直型付(PVC)
N-2	給水口		1			ボールタップ口
N-3	揚水口		1			
N-4	溢水口		1			
N-5	排水口		1			
N-6	通気口		1			架直型付(PVC)
N-7	電極座		2			架直型ヶ月スポリクス付(アイビ)
N-8	揚水口		1			
N-9	緊急時採水口		1			
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	蓋付カバー

UN1・N7防波筒は透明とする

Uマンホール錠 No. 1000-50 キーNo. 0025

UMマンホールは内蓋付とする(樹脂製)

U外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様		
	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
	材質	SS400
	容量	呼称＝　有効－38㎥
	板厚 (L25面取必須用)	天＝4．5mm側＝4．5mm底＝6．0mm
	製品質量	5090kg
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準　適合エポキシ樹脂
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE-204　厚さ＝0．4mm以上
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE－204　厚さ＝0．2mm以上
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー
外装色		指定色
設計震度		KH＝1．5　KV＝0．75
内蓋子		樹脂製
外蓋子		SUS304鏡洗い(踏み標はローレット加工)
ボルト・ナット	水槽内部	気相部　SUS304(一部樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ)
		液相部　SUS304
	水槽外部	電極座及び通気口　硬質塩化ビニル
		マンホール　SUS304
		アンカーボルト・ナット　SUS304
		その他の部分　SUS304

相模台中学校

SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称 市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議	縮尺 S=1/80 設計年月日	図面名称 受水槽姿図（参考）	図面番号 M2-03

特記仕様書

1・修繕名称：市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

2・修繕場所：市立東林中学校（相模原市南区上鶴間8-21-1）

3・修繕概要：プール受水槽の更新

4・施工基準：（１）本修繕は、本特記仕様書及び設計図書並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、
令和7年版　公共建築（改修共）工事標準仕様書（機械設備、電気設備、建築工事編）
「同標準図」、「同施工監理指針」による。

5・提出物等：修繕着手から完成までに、提出する書類及び図面等は、市担当者の指示に従うこと。

6・疑　　義：仕様書及び設計図に疑義を生じた場合は、市担当者と協議し、その指示に従うこと。

7・写　　真：修繕受注者は着手前、施工中、完成等各施工段階を順序よく、黒板に内容を入れて
撮影し、修繕完了時に工程写真及び完成写真を提出すること。

8・発生材処理：修繕にて発生した産業廃棄物は法律等に従って適正に処理を行うものとする。

9・施工時期：施工時期については学校と協議の上、設定し施工するものとする。

10・完成検査：（１）修繕完了後は市担当者立会いの上で、現場の確認を行うものとする。
（２）修繕完成に際して、当該修繕による損害部の復旧及び補修は受注者の負担において
完成検査までに完了させる。

11・その他：給水装置工事申請が必要な費用は受注者負担とする。

機器表

(改修前)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	FRP製単板パネルタンク：3,000W×11,000L×2,500H 呼称58.5m3（有効50.0m3） 耐震仕様2/3G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 架台:溶融亜鉛メッキ仕上	1

(改修後)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	鋼板製一体型受水槽：2,500W×6,600L×3,050H 有効38.0m3、満水ボックス付 耐震仕様1.5G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 その他　M3-03参照	1

案内図

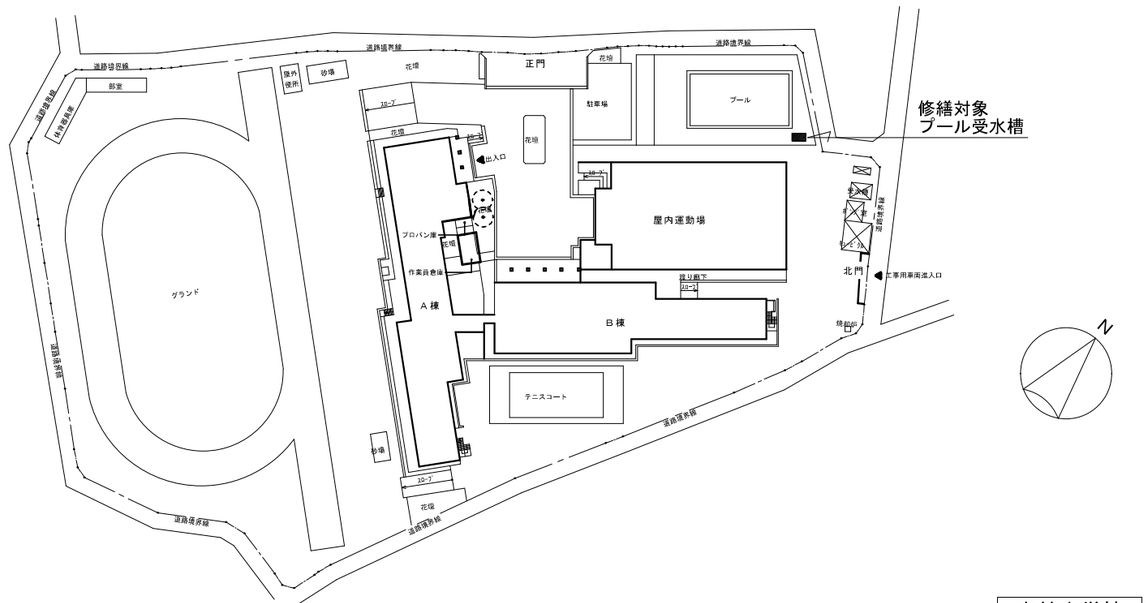
N．S



※駐車場から修繕場所までは、原則徒歩移動とする。
資材搬入等でやむを得ず車両が通行する場合には、先導員を配置して安全を確保すること。
※グラウンドに車両が通行する場合には、修繕完了時に整地を行うこと。
【学校敷地内を車両が通行する場合に遵守すべきこと】
・学校敷地内は最徐行を行うこと。
・登下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
・2人以上で車両通行する際には、1人が車両から降りて先導すること。
・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人に連絡を入れ先導をしてもらうか、
ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

配置図

N．S



東林中学校

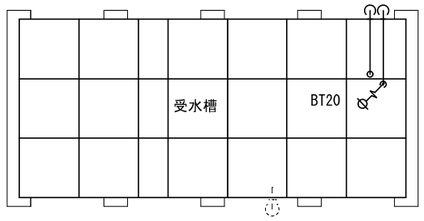
SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称	市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議

縮尺 N．S
設計年月日

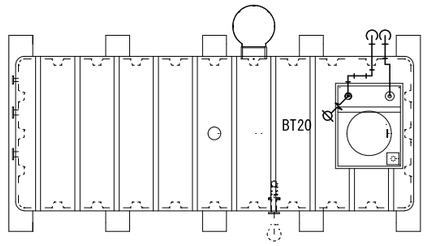
図面名称 特記仕様書・機器表 案内図・配置図

図面番号 M3-01

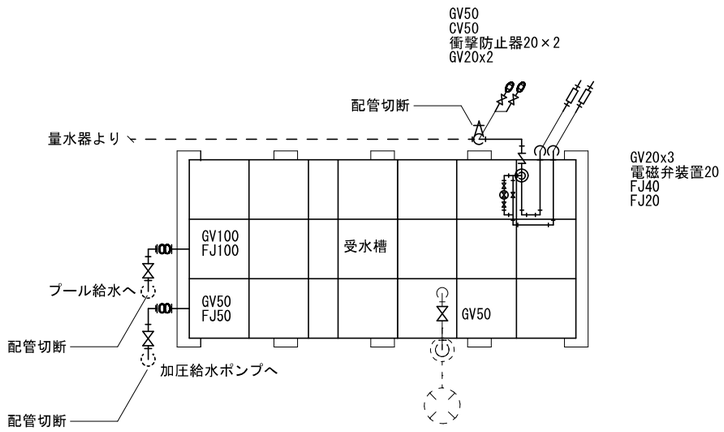
受水槽上部配管図（改修前）



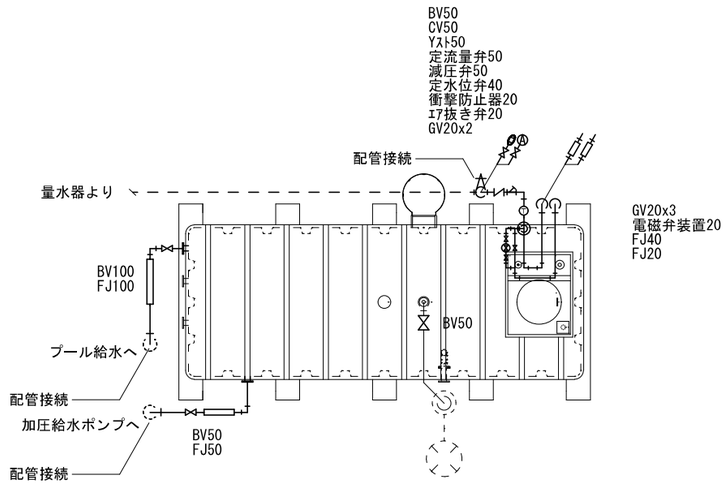
受水槽上部配管図（改修後）



受水槽下部配管図（改修前）



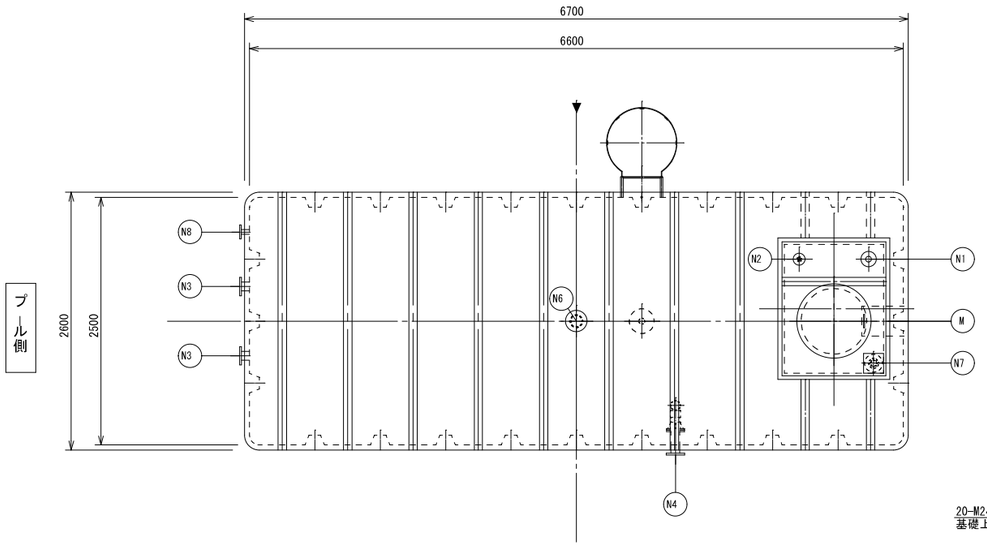
受水槽下部配管図（改修後）

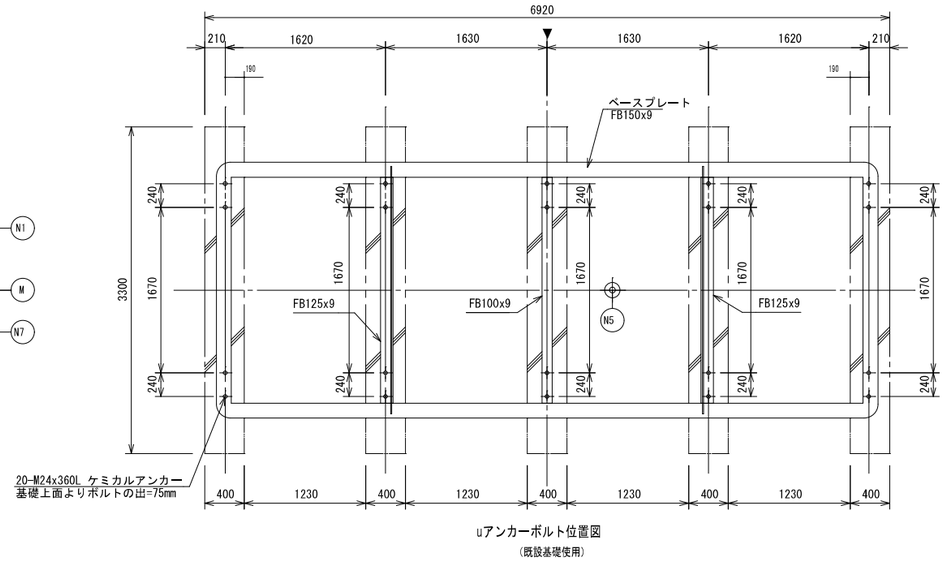


注記
・電極及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
※電極（水位・ポンプ）EM-CEE2.0-5C（22）
※電磁弁　EM-CEE2.0-3C（22）
・適切に配管支持を行うこと
・既存アンカー部の補修を行うこと

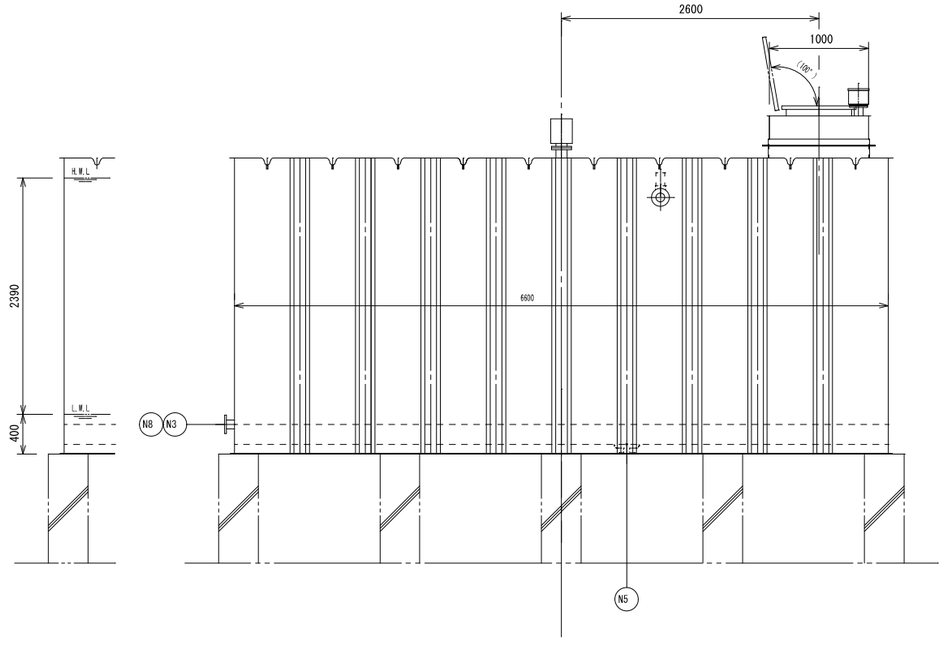
東林中学校

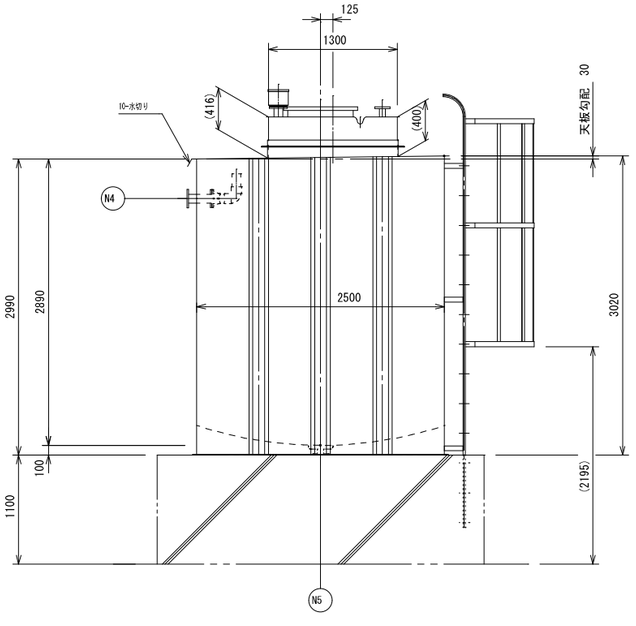
SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称 市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議	縮尺 S=1/100 設計年月日	図面名称 受水槽廻り詳細図 （改修前・改修後）	図面番号 M3-02





uアンカーボルト位置図
（既設基礎使用）





ノズル表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
N-1	給水口	40A	1			防波隔付（PVC）
N-2	給水口	20A	1			ボールタップ口
N-3	揚水口	100A	1			
N-3	揚水口	50A	1			
N-4	溢水口	75A	1			内部エルボ管付
N-5	排水口	50A	1			
N-6	通気口	75A	1			防虫網付（PVC）
N-7	電極座	ー	1			防波筒・プルボックス付（PVC）
N-8	緊急時採水口	40A	1			
M	マンホール	φ650	1	SS400	-	鍵付カバー

UN1・N7防波筒は透明とする
Uマンホール鍵　No. 1000-50　キーNo. 0025
UMマンホールは内蓋付とする（合成樹脂製）
U外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
	材質	SS400
	容量	呼称＝　有効＝38m³
	板厚（JIS規格品使用）	天＝6．0mm　底＝6．0mm
		側（長辺）＝4．5mm　側（短辺）＝6．0mm
		満水ボックス（天・側）＝4．5mm
	製品質量	水槽＝4760kg　満水ボックス＝170kg
		合計＝4930kg
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準　適合エポキシ樹脂
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE-204　厚さ＝0．4mm以上
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE-204　厚さ＝0．2mm以上
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー
外装色		指定色
設計震度		KH＝1．5　KV＝0．75
内梯子		樹脂製
外梯子		SUS304酸洗い（踏み棒はローレット加工）
ボルト・ナット	水槽内部	気相部　SUS329J4Lの樹脂保護ボルト・ナット
		液相部　SUS304
	水槽外部	電極座及び通気口　硬質塩化ビニル
		マンホール　SUS304
		アンカーボルト・ナット　SUS304
		その他の部分　SUS304

東林中学校

SAGAMIHARA
相模原市

修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議

縮尺
S=1/80
設計年月日

図面名称
受水槽姿図（参考）

図面番号
M3-03

特記仕様書

１・修繕名称：市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

２・修繕場所：市立北相中学校（相模原市緑区与瀬1019-5）

３・修繕概要：プール受水槽の更新

４・施工基準：（１）本修繕は、本特記仕様書及び設計図書並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、
令和7年版　公共建築（改修共）工事標準仕様書（機械設備、電気設備、建築工事編）
「同標準図」、「同施工監理指針」による。

５・提出物等：修繕着手から完成までに、提出する書類及び図面等は、市担当者の指示に従うこと。

６・疑　　義：仕様書及び設計図に疑義を生じた場合は、市担当者と協議し、その指示に従うこと。

７・写　　真：修繕受注者は着手前、施工中、完成等各施工段階を順序よく、黒板に内容を入れて
撮影し、修繕完了時に工程写真及び完成写真を提出すること。

８・発生材処理：修繕にて発生した産業廃棄物は法律等に従って適正に処理を行うものとする。

９・施工時期：施工時期については学校と協議の上、設定し施工するものとする。

10・完成検査：（１）修繕完了後は市担当者立会いの上で、現場の確認を行うものとする。
（２）修繕完成に際して、当該修繕による損害部の復旧及び補修は受注者の負担において
完成検査までに完了させる。

11・その他：給水装置工事申請が必要な費用は受注者負担とする。

機器表

(改修前)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	FRP製単板パネルタンク：5,000W×6,600L×3,000H 呼称90.0m3（有効76.5m3） 耐震仕様2/3G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 架台:溶融亜鉛メッキ仕上	1

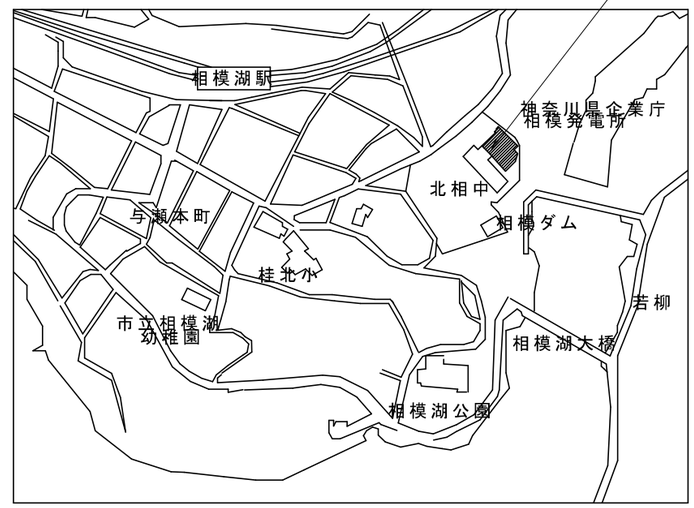
(改修後)機器表

名　称	仕様・付属品	台　数
受水槽	鋼板製一体型受水槽：2,000W×5,000L×2,750H 有効19.0m3 耐震仕様1.5G チャンネルベース、タラップ 電極座、電極カバー 防液パイプ、通気口 その他　M4-03参照	2

案内図

N．S

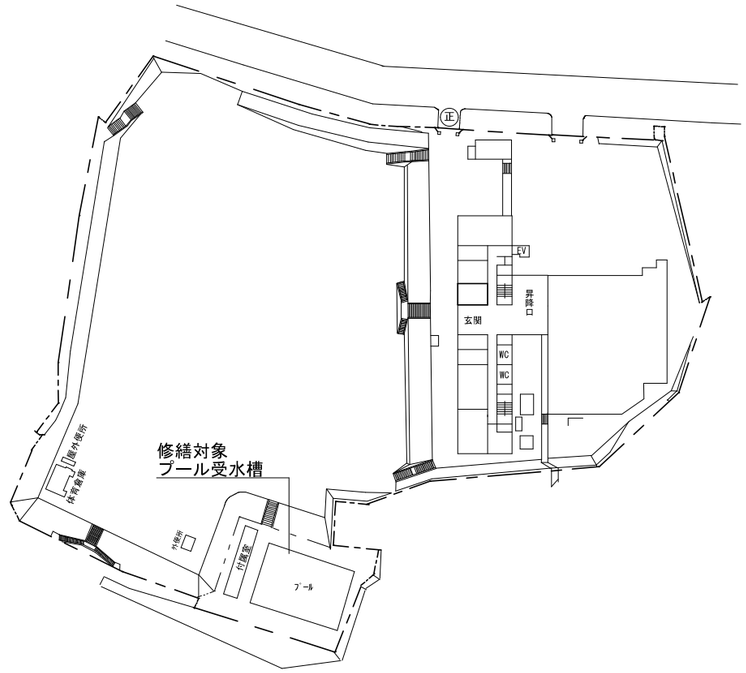
所在地：神奈川県相模原市緑区与瀬1019-5



※駐車場から修繕場所までは、原則徒歩移動とする。
資材搬入等でやむを得ず車両が通行する場合には、先導員を配置して安全を確保すること。
※グラウンドに車両が通行する場合には、修繕完了時に整地を行うこと。
【学校敷地内を車両が通行する場合に遵守すべきこと】
・学校敷地内は最徐行を行うこと。
・登下校の時間や休み時間においては、原則として出入りは行わないこと。
・2人以上で車両通行する際には、1人が車両から降りて先導すること。
・1人で車両通行する場合には、原則として事前に学校内にいる人に連絡を入れ先導をしてもらうか、
ハザードランプを点灯させて最徐行すること。
・敷地内の駐車スペースより車両通行を開始する前には、車両周辺の前後左右の確認を行うこと。

配置図

N．S



北相中学校

SAGAMIHARA
相模原市

修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

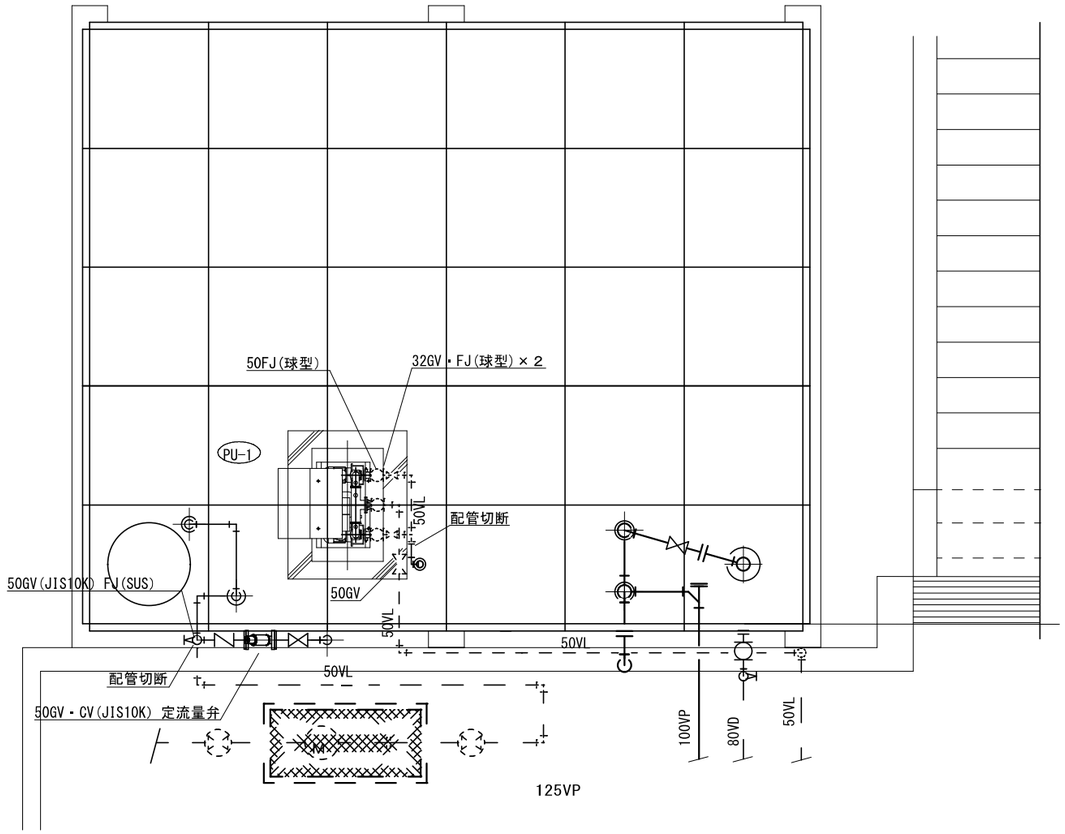
課　長	担当課長	副主幹	主　査	担　当	合　議

縮尺　N．S
設計年月日

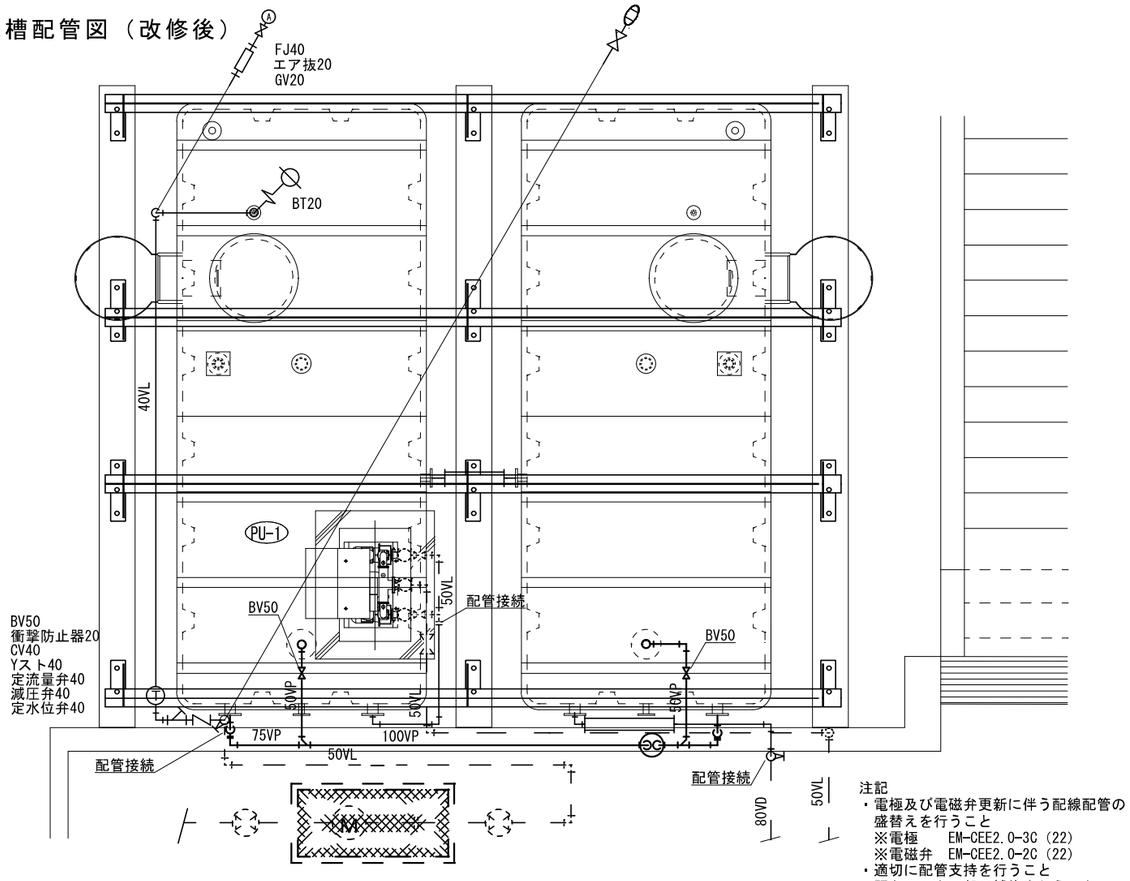
図面名称
特記仕様書・機器表
案内図・配置図

図面番号
M4-01

受水槽配管図（改修前）

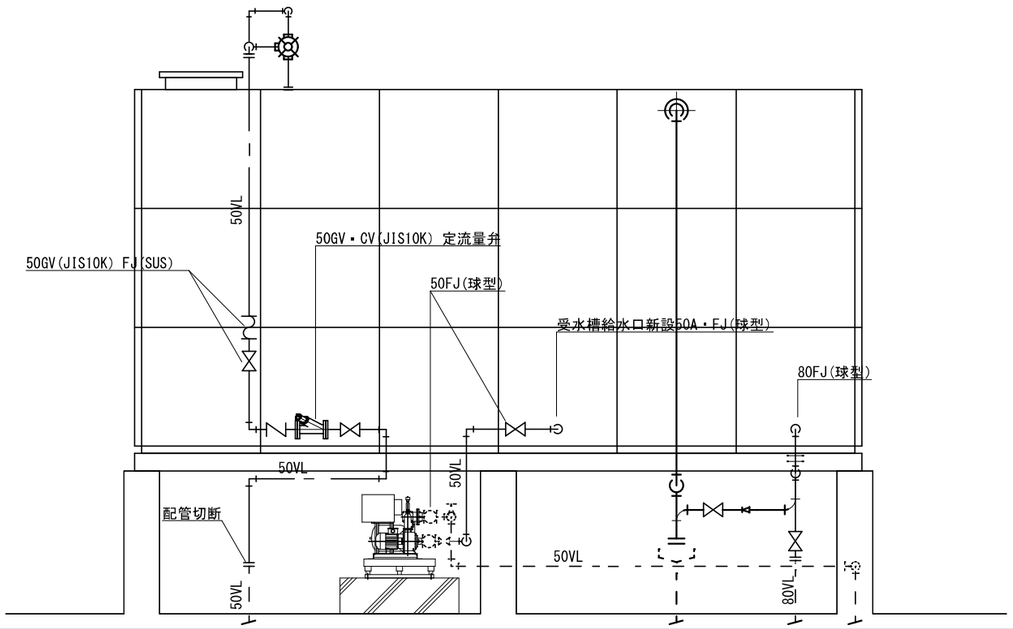


受水槽配管図（改修後）

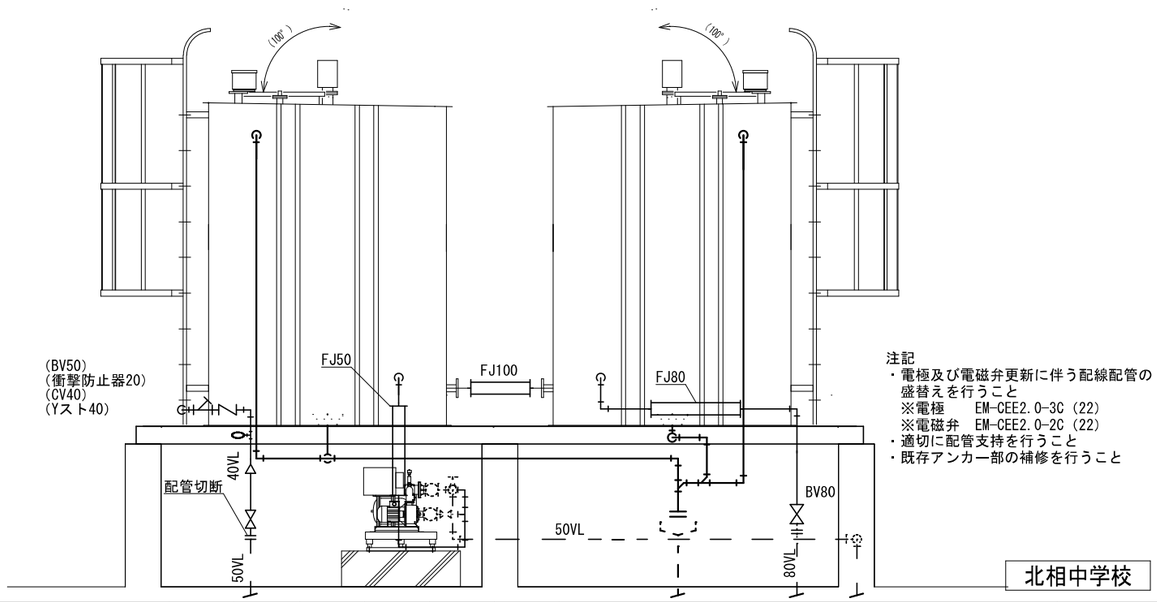


注記
- 電極及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
  ※電極　EM-CEE2.0-3C（22）
  ※電磁弁　EM-CEE2.0-2C（22）
- 適切に配管支持を行うこと
- 既存アンカー部の補修を行うこと

受水槽配管図 立面図（改修前）



受水槽下部配管図（改修後）



注記
- 電極及び電磁弁更新に伴う配線配管の盛替えを行うこと
  ※電極　EM-CEE2.0-3C（22）
  ※電磁弁　EM-CEE2.0-2C（22）
- 適切に配管支持を行うこと
- 既存アンカー部の補修を行うこと

北相中学校

SAGAMIHARA
相模原市

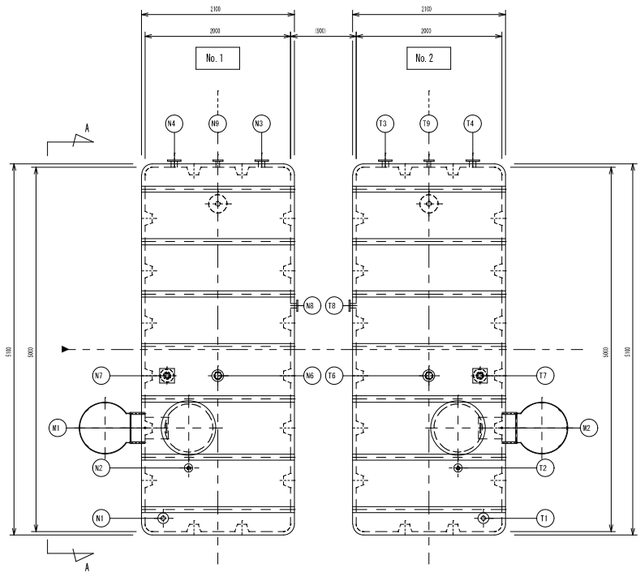
修繕名称
市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕

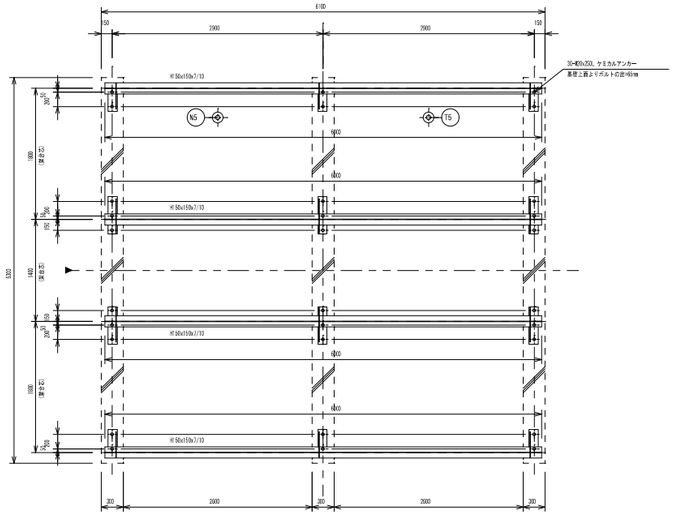
課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議

縮尺 S=1/50
設計年月日

図面名称
受水槽廻り詳細図
（改修前・改修後）

図面番号
M4-02





Uアンカーボルト位置図
（既設基礎使用）

(No.1)

ノ ズ ル 表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
N-1	給水口		1			防護管付（PVC）
N-2	給水口		1			ボールタップ口
N-3	揚水口		1			
N-4	溢水口		1			
N-5	排水口		1			
N-6	通気口		1			取金網付（PVC）
N-7	電極座		1			塩ビ管φ75×t5.5ライニング（PVC）
N-8	連通口		1			
N-9	水栓口		1			
M-1	マンホール	φ650	1	SS400	-	蝶付カバー

UN1・N7防波筒は透明とする
Uマンホール錠 No. 1000-50 キーNo. 0025
UM1マンホールは内蓋付とする（樹脂製）
U外面のフランジ材質はSS400とする

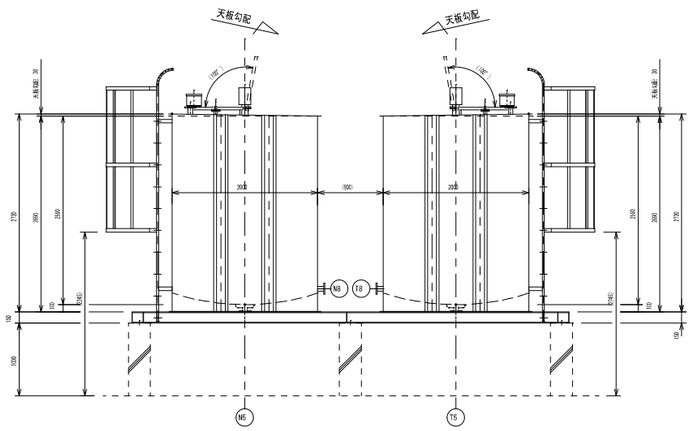
槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
	材質	SS400
	容量	呼称= 有効＝19m³
	板厚	天＝4．5mm側＝4．5mm底＝4．5mm
	(JIS規格品使用)	
	製品質量	水槽＝2780kg 架台＝880kg
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE-204 厚サ＝0．4mm以上
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE－204 厚サ＝0．2mm以上
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー
外装色		指定色
設計震度		KH＝1．5 KV＝0．75
内縁子		樹脂製
外縁子		SUS304製浅い溝み棒はローレット加工）
架台施工		SS400の上面樹脂着メッキ化工（HDZT49）
ボルト・ナット	水槽内部 気相部	SUS304
	水槽内部 液相部	SUS304
	水槽外部 電極座及び通気口	硬質塩化ビニル
	水槽外部 マンホール	SUS304
	水槽外部 アンカーボルト・ナット	SUS304
	水槽外部 その他の部分	SUS304

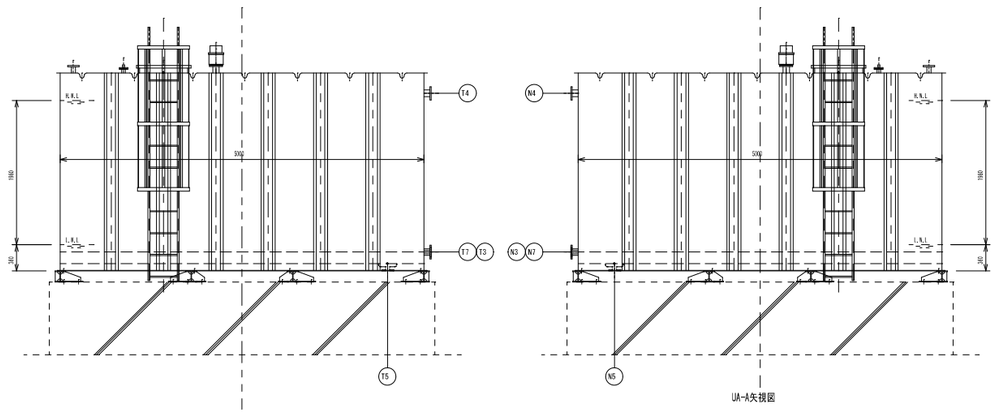
(No.2)

ノ ズ ル 表						
符号	名称	呼	数	管材	継手	備考
T-1	給水口		1			防護管付（PVC）
T-2	給水口		1			ボールタップ口
T-3	揚水口		1			
T-4	溢水口		1			
T-5	排水口		1			
T-6	通気口		1			取金網付（PVC）
T-7	電極座		1			塩ビ管φ75×t5.5ライニング（PVC）
T-8	連通口		1			
T-9	水栓口		1			
M-2	マンホール	φ650	1	SS400	-	蝶付カバー

UT1・T7防波筒は透明とする
Uマンホール錠 No. 1000-50 キーNo. 0025
UM2マンホールは内蓋付とする（樹脂製）
U外面のフランジ材質はSS400とする

槽の仕様	国土交通省告示構造基準適合品 鋼板製一体型水槽	
	材質	SS400
	容量	呼称= 有効＝19m³
	板厚	天＝4．5mm側＝4．5mm底＝4．5mm
	(JIS規格品使用)	
	製品質量	水槽＝2780kg
防食仕様	材質	厚生労働省告示基準 適合エポキシ樹脂
	内面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE-204 厚サ＝0．4mm以上
	外面施工	加熱硬化型エポキシライニング
		NE－204 厚サ＝0．2mm以上
	施工法	無溶剤型ホットエアーレススプレー
外装色		指定色
設計震度		KH＝1．5 KV＝0．75
内縁子		樹脂製
外縁子		SUS304製浅い溝み棒はローレット加工）
ボルト・ナット	水槽内部 気相部	SUS304
	水槽内部 液相部	SUS304
	水槽外部 電極座及び通気口	硬質塩化ビニル
	水槽外部 マンホール	SUS304
	水槽外部 アンカーボルト・ナット	SUS304
	水槽外部 その他の部分	SUS304





U A-A矢視図

北相中学校

SAGAMIHARA 相模原市	修繕名称 市立大野南中学校外３校プール受水槽更新修繕		課長	担当課長	副主幹	主査	担当	合議	縮尺 S=1/80 設計年月日	図面名称 受水槽姿図（参考）	図面番号 M4-03